

## ■ 大阪府福祉のまちづくり条例ガイドラインの活用状況について

### 1 ガイドラインの啓発について

ガイドラインの内容を府民等関係者に啓発し、実際に活用していただくことが重要であるため、次の取り組みを進めている。

【啓発】 常時、PRに努めるものとする。(●：実施済み、○：実施予定)

府民等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●府ホームページ</li> <li>○チラシの配布（情報プラザ等の活用）</li> </ul>	
設計者（施主）等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府建築士事務所協会</li> <li>・大阪府建築士会</li> <li>・社団法人日本建築家協会 近畿支部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉のまちづくり審議会委員等を通じて啓発を依頼</li> <li>●建築士事務所協会、建築士会の総会においてチラシ等を配布</li> <li>●ホームページ、メールマガジン、機関紙への掲載</li> <li>○研修会の開催（建築士会については、11月8日開催予定）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定確認検査機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メール、啓発用チラシにて啓発を依頼</li> <li>●指定機関部会において説明会を実施</li> </ul>
障がい者・支援者等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉のまちづくり審議会委員を通じて啓発を依頼</li> </ul>
行政機関	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府公共建築室、住宅経営室、教育庁、府警察本部 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉のまちづくり審議会幹事、福祉のまちづくり推進庁内連絡調整会議の構成員へ啓発を依頼</li> <li>●府公共建築室内研修を活用し研修を実施</li> <li>○研修会の開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉のまちづくり市町村連絡会議の構成員へ啓発を依頼</li> <li>●重点整備地区バリアフリー推進連絡会議にて啓発</li> <li>○福祉のまちづくり市町村連絡会議等を活用し研修を実施</li> </ul>
その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●建築業界紙を活用した広報（業界紙に情報提供）</li> <li>○都道府県に対しメール等により情報提供</li> <li>○JCBA（日本建築行政会議）：府の参画メンバーから情報提供</li> <li>○近畿建築行政会議等を活用し、研修を実施</li> </ul>	

#### 【広報物】

刊行物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子（白黒版）</li> <li>・啓発用チラシ</li> <li>・点字版、拡大版を事務局に設置</li> </ul>
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府ホームページに掲載  <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/fukushi_top/guideline.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/fukushi_top/guideline.html</a>            （視覚障がい者への配慮として音声読み上げ対応テキストデータを併せて掲載。）</li> <li>・ガイドラインの内容をより多くの方に理解していただくため「やさしい日本語版」を併せて府ホームページに掲載。</li> </ul>

### 2 ガイドラインの追記・見直しについて

○策定時に「引き続き検討を行う」とした内容や、啓発の過程で出された意見等をふまえ、見直し（スパイラルアップ）を行う。

（今年度は啓発に力点を置き、追記・見直し項目の蓄積を図るものとする。）